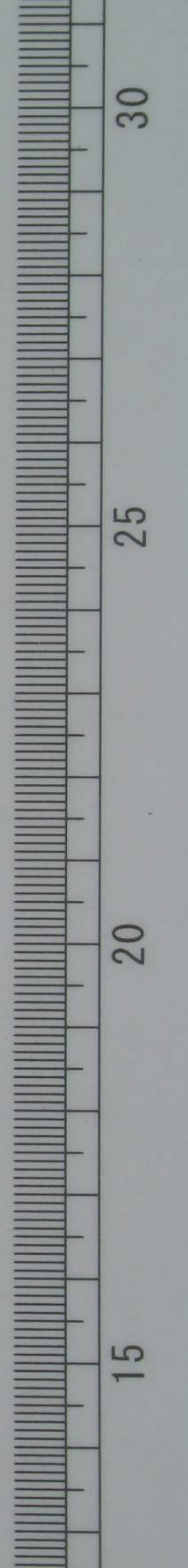




五
 双の
 一
 の
 函

76
 525
 5



大藏經

卷之三

卷之三

Handwritten text in vertical columns on the left page, including a red seal at the top.

Handwritten text in vertical columns on the right page.

おぼろのつとめは附

あふろの方

大関 大木より川よりなり
とるるうろろとるもの

関脇 法度の
志やうとてするもの

小結 うさといふ
あさおとさるる男

前頭 うさといふ
あさおとさるる男

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

行司 女づまといふ
あさおとさるる男

あふろの方

大関 うさといふ
あさおとさるる男

関脇 法度の
志やうとてするもの

小結 うさといふ
あさおとさるる男

前頭 うさといふ
あさおとさるる男

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

同 志やうとてするもの

行司 人の志やう
あさおとさるる男

行司 人の志やう
あさおとさるる男

はよひの 見立相撲

はよひの

こよひの

大関 ふじの山と
はくんで座り

大関 らひすじふわ
のたまふら

関脇 いまくらを
ちんぢくけさ

関脇 又くらよちの
あひひこる

小結 あまぐをせ
あまそわるく

小結 ちくめん
たをこあさ

前頭 おあごのあさ
るだりへて

前頭 おととく
いさるひのよ

前頭 大ぶ孫と
つまんて座り

前頭 だんびるを
めひて出て

前頭 野も山も
おのふてもどる

前頭 だいてん
ちていあ

前頭 匠の汁
こくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

前頭 匠の汁
くくもあさ

前頭 せんぬさ
くふてあ

○牛馬の植つけせりも幸なをなす

はるせいのりて者への角力

勸進元 素人並居

東 之 方

大関 かくんがくごうもの人

関脇 だいのがとれはひのまづの

小结 そらうらひのまづの

前頭 素人のまづのまづの

同 ちんたうてまづの

同 男だてふくひあす人

同 ねす人のまづの

同 をこつらまづの

同 揚子のまづの

同 まづのまづの

同 たのりのまづの

同 くとまづの

同 うけたうまづの

同 とらうまづの

同 月よふまづの

同 素人のまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

行司 たいこに味せんで 風の邪おくるの

差込人 千リカラ連中

西 之 方

大関 びくろくごうもの

関脇 ちびくろのまづの

小结 だのくまづの

前頭 素人のまづの

同 素人のまづの

同 地人のまづの

同 ちんたうてまづの

同 ねす人のまづの

同 をこつらまづの

同 揚子のまづの

同 まづのまづの

同 たのりのまづの

同 くとまづの

同 うけたうまづの

同 とらうまづの

同 月よふまづの

同 素人のまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

同 だづらうまづの

頭取 かやみづまで 二の力仕あるく人

のみ井 酒河谷 味りく
よひ井

酒社みね哥

世の中より酒をよのむ酒あは
 のんでくらする井のつく
 振舞ふも貴金と成なれど
 こひあつて固くある二井
 酔風のよはともこのいひき
 こひこけいしそまの二井
 あつちの備蓄するめづらき
 酒だくりなれぬは井
 あひ押しおえりやとむる酒と
 いとすけるも又井ありなり
 霧のあつちのゆきや酒のつく
 のんでくらする一井
 舟のやと舟のむらへあつち
 七井までのうんごうの酒
 陶淵明の酒をよのむ酒のんで
 すまの世までも名と八井
 酒のんでいふはあつちの酒
 こひよ戸とふれ井といふ
 長命の葉のあつちの酒
 馬のあつちの酒

酒社みね哥

長命の葉のあつちの酒
 の中よりくらする酒
 春とまの酒の酒の酒
 昔の酒の酒の酒の酒
 酒のんでくらする酒の酒
 おたの酒の酒の酒の酒
 春の酒の酒の酒の酒
 ついし酒の酒の酒の酒
 酒の酒の酒の酒の酒
 おらんて酒の酒の酒の酒
 すまの酒の酒の酒の酒
 後れ酒の酒の酒の酒
 長人も酒の酒の酒の酒
 こひ七井の酒の酒の酒の酒
 春の酒の酒の酒の酒
 すまの酒の酒の酒の酒
 上戸も酒の酒の酒の酒
 春の酒の酒の酒の酒
 の酒の酒の酒の酒の酒

玉の方

前頭 大坂生 玉	前頭 魚 玉	前頭 の 玉	前頭 の 玉	前頭 の 玉	小結 の 玉	関脇 の 玉	大関 の 玉
小電 血 玉	下 血 玉	輕 小 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉
白 玉	白 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉
赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉

金の方

前頭 の 玉	前頭 の 玉	前頭 の 玉	前頭 の 玉	小結 の 玉	関脇 の 玉	大関 の 玉
赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉
赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉
赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉	赤 玉

御慰
金玉
見相撲



あやうでもあやう
あやうでもあやう

あやうでもあやう
あやうでもあやう

あやうでもあやう

あやうでもあやう

大関 ちごくおくらく

大関 せいのさのもうい

関脇 けいせいのまこと

関脇 ひつちのらんが

小結 せきありのたいこ

小結 小むらりてきん

前頭 ちしんのむら

前頭 商人のかけ紙

前頭 金 ざん 人

前頭 げいふれきん入り

前頭 ねむり金ありきん

前頭 お玉師乃た紙

前頭 ゆうまのひとたま

前頭 海のあひれきん

前頭 えん年れこよき

前頭 女形役者乃らんが

前頭 足利けんごのねん

前頭 友達のあゆとこ人

前頭 ちんちんけいよん女

前頭 のとれきんたま

前頭 金持乃学者

前頭 かけつきあそび人

前頭 ぶんやあやうけい

前頭 浪家乃世作人

前頭 有 佛法あひこ

前頭 寺の 大こく

前頭 文字のよきうた

前頭 六十まであそび人

前頭 出陣帳

前頭 ちんちんのほりだし

前頭 かまひのむら

前頭 せんたいせに

前頭 けいり者

前頭 さうまのよき人

當世 人情 及 人 性 天 壽

大 蘭

關 脇

小 結

煎 頭

同

同

同

同

同

同

同

同

同

大 蘭

關 脇

小 結

煎 頭

同

同

同

同

同

同

同

同

同

世間雑言身と見え文

ついでふ 船ぞり

或士の 弓ぞり

はるの じぞり

はれふ 葉ぞり

侍ハ 葉ぞり

のんごの ぼぞり

字名の 分ぞり

珍美の ぶぞり

大なる ぶぞり

ふのかさ 葉ぞり

ふさふさの ちぞり

むすこ 葉ぞり

ほふ 葉ぞり

おやの 葉ぞり

そりふの 葉ぞり

葉ぞり 葉ぞり

赤まハ 葉ぞり

ぬれハ 世ぞり

ちりちりの 矢ぞり

はるおで 葉ぞり

孫宗の さぞり

のりひの かつぞり

ごう君の おぞり

すゝめ おぞり

かしの おぞり

いきて 水ぞり

二月半の 水ぞり

夏のじ 水ぞり

たまごの 水ぞり

松の みぞり

虎の枝 いぞり

神門の やぞり

よみはこ 葉ぞり

くもの たぞり

あふの おぞり

そりじ ちぞり

十九又 葉ぞり

百中の 紙ぞり

きんぎの 小葉ぞり

かごのの クチぞり

山岸の 下ぞり

かきふ かつぞり

かごのの おんぞり

おやうが うつぞり

どくろの ぶぞり

よきあの せぞり

のみまよ ちぞり

大船の 大ぞり

二食のよ こつぞり

簾ののの らふぞり

そやのう てぞり

うらばが みんぞり

おらふハ 女ぞり

一夜の やぞり

よりのの 葉ぞり

芥菜の 又ぞり

紙のの 切ぞり

よまのの ちぞり

やまのの ひぞり

名ま 丸 風 鶴 川は 浅の 旭

新板 歌舞妓狂言穴あはし

賢又と宝おとらけのりこさふ
 利星おとらけのりこさふ
 月のこのそらうじは作らうとさ
 といふも華めがうとさ
 新社のいごう大いごの海あり
 他いごさひ物のいご
 糸かえ世の女みごよ桶さげ
 みるも小柱てりごのいご
 蛭通うらうまんとうけ
 ポント切まぬとらふご
 長おの肉よやくまらして居る
 ののぞ小倉んおとさ
 寶の初の女とさうおとさ
 箱へでも合ぬご
 むん人の後いご
 おの思のりご
 物使上使の愛りのあご
 本後ごてうとさ
 志ありん打とバットおのり
 本の根のしん仕掛
 お家の伯女は
 押れのうらうとさ
 欲りらの浪人が大切
 出世せび小飛ご

義とのわらうらり月よを夫の
 わげ代拂うご
 えちの場へ糸強の仕出
 させんよとねんご
 大重で大せのうとさ
 のつご月とはご
 世仕場の門は小あ布じ金
 うら美戸とさ
 松の木せうおとら
 むび志もびよとさ
 欠落と来と女席とかくす
 押入よおの入とさ
 根指のお月とさ
 かけご月のいご
 後人の筆と杖とさ
 後浪の用とさ
 さのむとさ
 下うせ切とさ
 肩とぬぐぬとさ
 むん人のやうとさ
 丁らんとさ
 新見世のやうとさ
 男あごとさ

つむぎの巻

ひがりのうゝ

大関

ちいさな髪はかへ性せむ
しゆういふもあつしゆん

関脇

かめの髪はあつしゆうん
てまり目もあつしゆうん

小結

髪はあつしゆうん
あつしゆうん

前頭

かめの髪はあつしゆうん
あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

おりのうゝ

大関

あつしゆうん

関脇

あつしゆうん

小結

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

前頭

あつしゆうん

かんでも くひい **喰競見** くいて **在角力** あじり

勸進元 まうらふ 観音 くわんおん 養父 やうふ すうらふ まぬけ

大関 おほせき 西丸 さいまる 大関 おほせき 寒の内 さむのち

関脇 せきわし 菓子 かし 関脇 せきわし 在 あ 所酒 しよ

小結 せきむす 鯛の汁 たうのじゆ 小結 せきむす 在所酒 あしよ

前頭 まへづと 肴 さかな 前頭 まへづと 胡瓜 くわ

前頭 まへづと 昆布 こんぶ 前頭 まへづと 唐 から

前頭 まへづと 糸 いと 前頭 まへづと 行 ゆき

前頭 まへづと 安米 やすめ 前頭 まへづと 三月 さんがつ

前頭 まへづと 吸物 すくもの 前頭 まへづと 豆腐 とうふ

前頭 まへづと すも すも 前頭 まへづと か か

前頭 まへづと 下 した 前頭 まへづと 月見 つきみ

前頭 まへづと 下 した 前頭 まへづと 汁 じゆ

行 ゆき 男 おとこ 連 つら 頭 づと 江 え の子 こ 嶋 じま

司 つかさど 引 ひ 取 と 女 め 術 じゆつ 者 もの

世 よ 生 なま 貝 かい 目 め 玉 たま 魚 うしほ 腐 く

人 ひと 目 め 玉 たま 魚 うしほ 腐 く 魚 うしほ と と か か

名 な 乗 のり 上 うへ 魚 うしほ と と か か

古歌 ふるうた 作者 あきくひや 倉井吞助 くらいのみ

しるほに 橋 対てらふよま ますのりも
てしあともりて 喰ぞももしほ

海老子

浮世貝世



海老子... 浮世貝世... (The text is a dense handwritten list or poem of various shell names and descriptions in kuzushiji script, including terms like 浮世貝, 海老子, and 貝世.)

大新 オホニホ 市 イチ 中 ナカ の ノ お オ り リ な ナ り リ

大蘭 オホラン *shimura-guanaka*

関脇 セキワキ *shimura-kanwaki*

小結 コヅメ *shimura-kozume*

煎頭 センヂウ *shimura-senju*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

大蘭 オホラン *shimura-guanaka*

関脇 セキワキ *shimura-kanwaki*

小結 コヅメ *shimura-kozume*

煎頭 センヂウ *shimura-senju*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

同 ドウ *shimura-dou*

むしん 一はとあ

依の跡たあ
家の中とふ
そらへ

香る



ふけつまの
げごうあけ

あめ

あの下とん
あてんあ

あてんあ

改是がちう
天下一女の

あみ



あんだん
金とれあ

あてんあ

せんちあ
でん

うん

あしあ
あしあ

ちう



あまのあ
あしあ

あてん

久三が海の家
と海であ

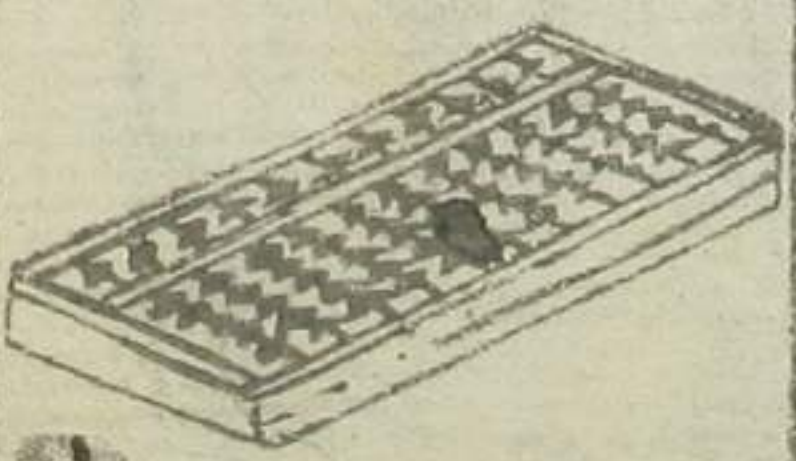
あてんあ

大晦日
あてんあ

あてんあ

あをんあ
あてんあ

あてんあ



あてんあ
あてんあ

あてんあ

あてんあ
あてんあ

あてんあ

あてんあ
あてんあ



あてんあ
あてんあ

あてんあ

あてんあ
あてんあ

あてんあ



あんいひんく
 へいひんく
 へんく
 へんく
 へんく

依の跡をあらう
 いとあらうつとせ
 女流ひらう

あつ
 づ



疾風よめて
 百あめがらう

げん
 と

さんせふと食ふ
 いのぬとらむむし
 ちうらうがかい

らん
 せん
 せん

あつの陣方
 後法刺殺
 あつらういふ

ふ
 む
 む



すしやむすめ
 ちうらうとら

こ
 げん
 り

杖の肉を
 ふとあらうとら
 金うらうとら

げん
 げん
 やん

捕のそらうとら
 くそとらとら
 よせてらとら
 ちうらうとら
 くそとらとら



おあつとらとら
 とらとらとら

げん
 げん

さうらう
 そつとらとら

ふ
 け

そつとらとら
 大のその狂更
 うらうとら

あ
 り
 け

大仏くよう
 ちうらうとら
 七とらとら
 南都



あつとらとら
 目うらうとら
 こよとら

よ
 け

あつとらとら
 さつとらとら
 かくとらとら

あ
 り
 け

あつとらとら
 こよとらとら
 南都



あつとらとら
 おつとらとら
 むすとらとら

ま
 け

あつとらとら
 いばつとらとら
 つてとらとら
 七とらとら
 たとらとら



今井泰九作

あんい はん一 はんと あ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ



あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ



あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ



あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ



あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ



あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ



あいらひ
あいらひ

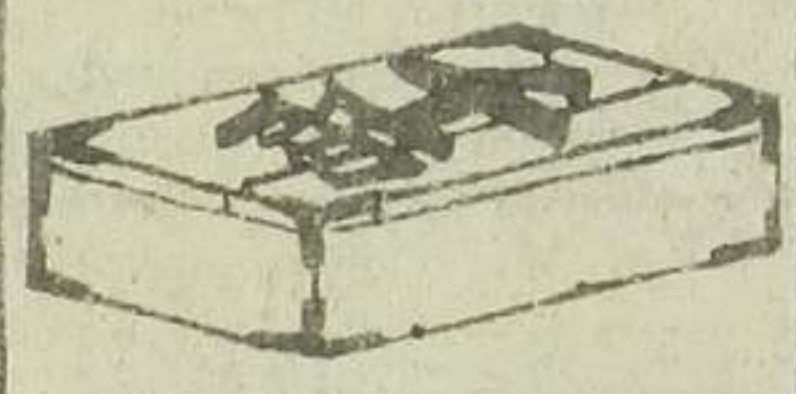
あいらひ
あいらひ

あいらひ
あいらひ

はあんにいし
はんにいし
はんにいし
はんにいし

えびのうまみ
いそぐり
たまご

いちばんや



うさぎのうまみ
かんや

あ

あつらひ
いつすり

あつらひ

あつらひ
だんご



あつらひ
三つり

あつらひ

あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ



あつらひ
あつらひ

あつらひ

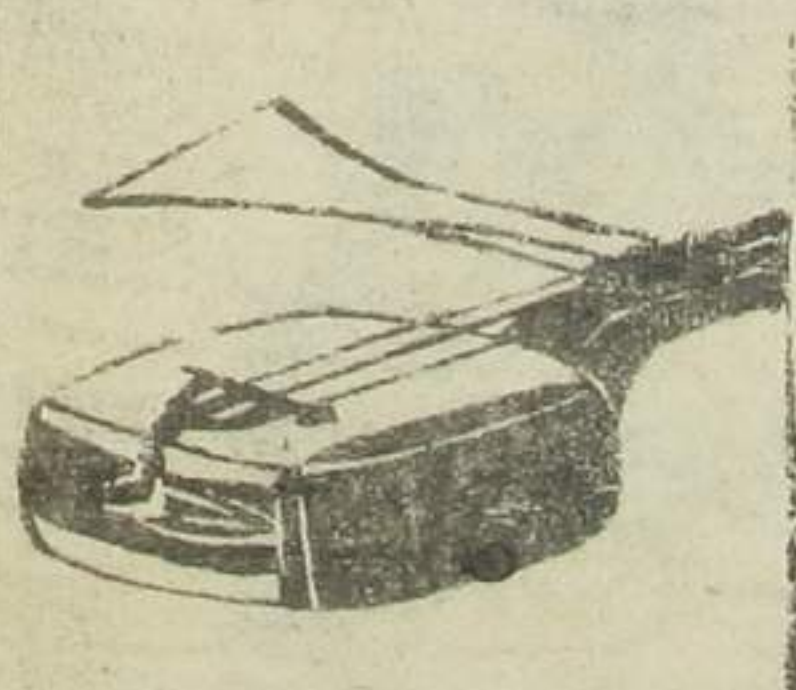
あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ



あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ



あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ

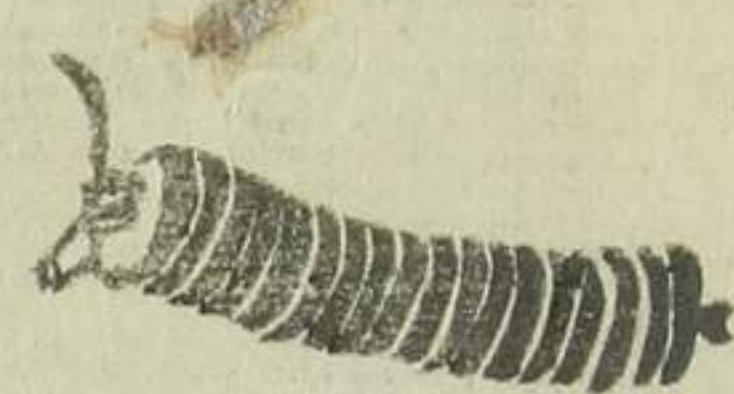
あつらひ
あつらひ



志ん一いそぎ

とんかき
せよころも
あういあほ

十の文
ころん



仲士のむすこ
はくはくす

そんこ
のむすこ

あつそ
んじ



あひのあひ
あひつけ
かちで
あひ



そんのみさ
ころん

ころん
かちん

あまあま
あまあま

あま
あま

あまあま
あまあま
あまあま
あまあま



あまあま
あまあま
あまあま

あま
あま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

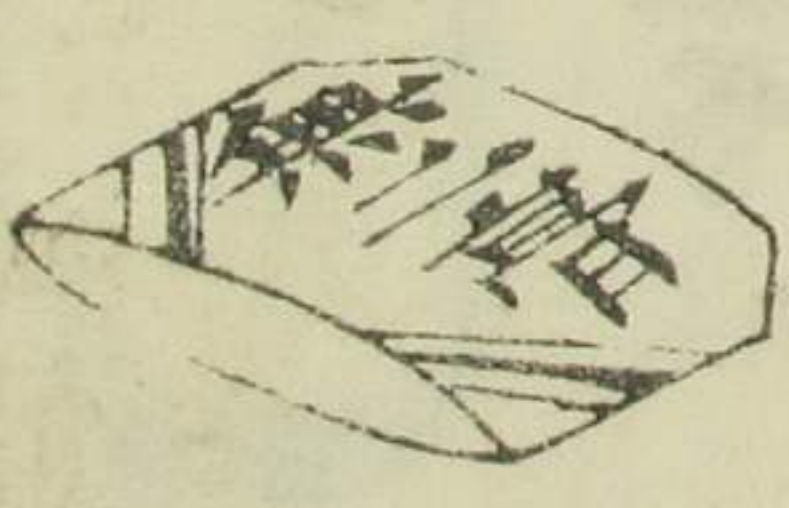
あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま

あまあま
あまあま



あまあま
あまあま

あんにい
もん一はてあ

さくらん
らん

たか
らん



えぬも
まつり

神
じま

おん
あつり

孫
つて

か
ねの
ぞす



あ
の
え
あ

え
あ

べ
く
肉
あ

福
へ

あ
の
あ
あ

わ
あ
あ



あ
の
あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ



あ
あ

あ
あ

あ
あ



あ
あ

あ
あ

あ
あ



はあんにん ひとくち いはたあし

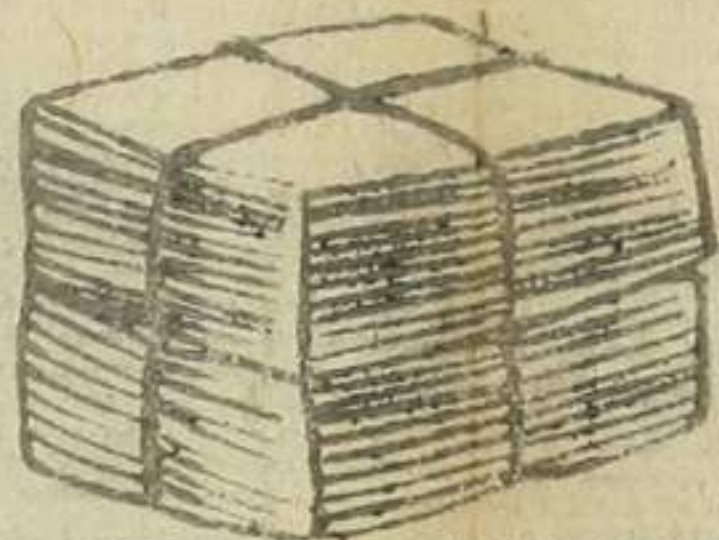
かけら
いしあめ
あかん



てうせんせあ
あの大おあ
かあ

かきん
あいつ
あかん

あかん
あかん
あかん



あかん
あかん
あかん

あかん
あかん
あかん

あかん
あかん
あかん



あかん
あかん
あかん

あかん
あかん
あかん

あかん
あかん
あかん



あかん
あかん
あかん

あかん
あかん
あかん



あかん
あかん
あかん

あかん
あかん
あかん



志人 一人はたかし

重忠のおま
さねでかい

ちぶわ



八軒のまはぬ
えつとわ

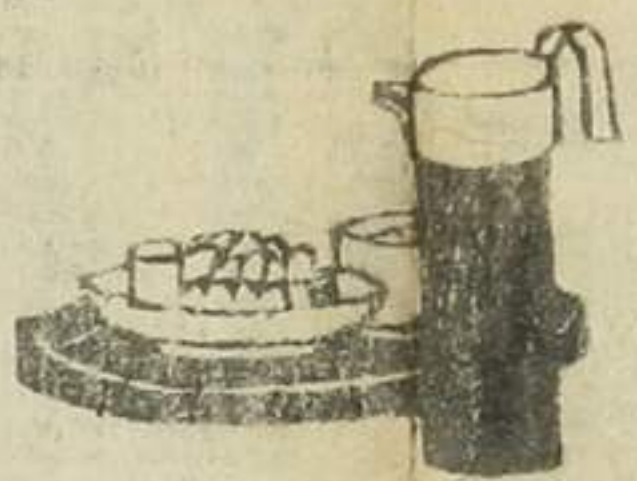
枕つらぬ

八軒のまはぬ
あつとわ

うら

ひんくろて
中かどうの

あつとわ



よふとわ
よふとわ

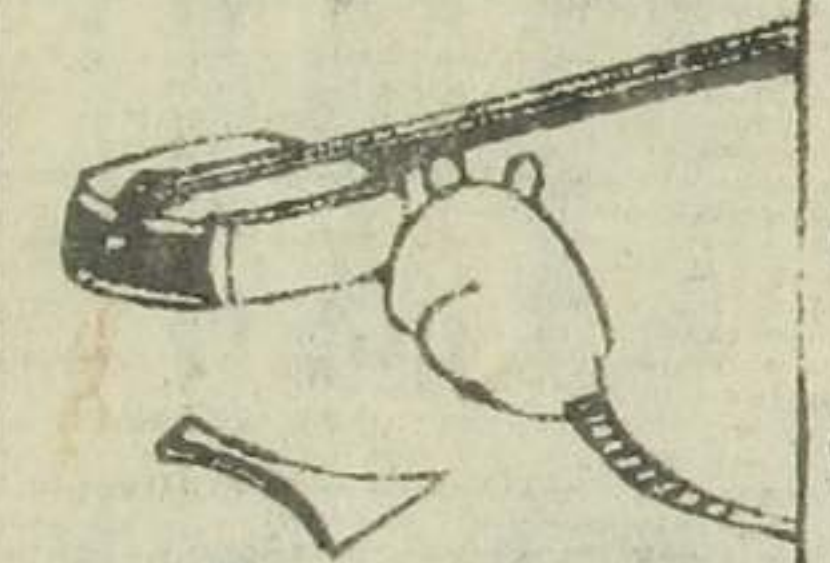
はん

よふとわ
あつとわ

そでい

お介さん
三とせん

あつとわ



これとわ
あつとわ

んわ

井戸の中
あつとわ

井

四十七人の内
あつとわ

大石

三つ助の
あつとわ

あつとわ



つとせう一の
あつとわ

く

あつとわ
あつとわ

あつとわ

あつとわ
あつとわ

あつとわ



あつとわ
あつとわ

あつとわ

あつとわ
あつとわ

あつとわ



山形の市場のりこき板

べんざうべんず

勸進元 もとつきのりの徳

差添入 ちりぞのせんたく

大関 大月と判傷りやてはまの

大関 まゝたて中てあとの

関脇 竿の下にすりせんたく

関脇 靴のけのりぞりける

小结 質をうへ経儀もらふ

小结 あ神のりて帯筋とかく

前頭 をりうふうらやてはま

前頭 はらうとてまどり

前頭 沖流とぬとぬべ張てあ

前頭 たかのどては葉海す

前頭 もむあとりんではま

前頭 若うとてあまはま

前頭 ねみとらうのふさ

前頭 いづのほしひま

前頭 月づふおろを挿る

前頭 かこ葉腹のらん

前頭 沙ぼとよ拭てかふる

前頭 かゝとて糸まぬます

前頭 ちろり酒のとーごの

前頭 飯初ふりうとげん

前頭 まんだまきやてうめ

前頭 あまなぬおとてうめ

前頭 小はごらうとくおはげん

前頭 とか紙とあさうが

前頭 くじ方のふひやせ

前頭 せん料でふとんと

前頭 ねまとやうとてあは

前頭 あふと隣みらり紙で

前頭 ねごよものあるびる

前頭 同じうと膚うごりける

前頭 一文抄でまきあて

前頭 けあおと小ぐい

前頭 あつものあま

前頭 地軟とらびとら

行司 せいのりあま

頭取 むし入りのあま

諸國 繁昌 御世尊殿



Handwritten Japanese text in kuzushiji script, consisting of approximately 25 lines of vertical columns. The text is densely packed and appears to be a formal communication or a record of an event.

いづれもあつたて

勸進元 せんのもつとあつたてあひ
うせもあつとつふ人

素人 かとりひでもの
むしへる人

東 之 古

西 之 方

大関 わせうのうけさすうら
と山のゆうふしをかく人

大関 こしとぬひでさやうで
糸とあうへたゆる人

関脇 うたわへうらうらえん
うらうらもうらうらぬ人

関脇 女中もつとつとあつて
そまうあひのたつとく人

小結 くらあひさつとあつて
さつとあひさつとあつて

小結 さつとあひさつとあつて
さつとあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 女中のおとあつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

前頭 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

行司 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

頭取 あつたあひさつとあつて
あつたあひさつとあつて

心 慈 以 為 己 慈 為 己 慈

金

金 銀 錢 財 物 之 類 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 金 也

金

金 銀 錢 財 物 之 類 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 金 也

慈

慈 者 愛 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 慈 也

以

以 者 用 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 以 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

己

己 者 自 己 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 己 也

慈

慈 者 愛 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 慈 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

己

己 者 自 己 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 己 也

慈

慈 者 愛 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 慈 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

己

己 者 自 己 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 己 也

慈

慈 者 愛 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 慈 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

己

己 者 自 己 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 己 也

慈

慈 者 愛 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 慈 也

為

為 者 成 之 意 也 凡 屬 此 類 者 皆 謂 之 為 也

江

户

芝神明前

同

同

馬喰丁

油丁

大傳馬町

日本橋

名古屋

同

紀州若山

播州姫路

備前岡山

備中倉鋪

藝州廣嶋

長州萩

筑前博多

阿州徳嶋

土州高智

金毘羅

勢州津

加州金沢

京都

大坂

同心及搦塩町

和泉屋市兵衛

佐野屋喜兵衛

有田屋清右門

山口屋藤兵衛

藤岡屋慶治

丁子屋平兵衛

山城屋佐兵衛

永樂屋東四郎

金網屋采藏

坂本屋喜一郎

灰屋轉治

中嶋屋益吉

大田屋六

采屋兵衛

熊城七右門

多飛屋治助

天満屋武兵衛

田村屋常右門

柏屋仲助

澤田佐兵衛

八百屋喜兵衛

株屋勘兵衛

敷賀屋茂七

綿屋喜兵衛

